

新潟県

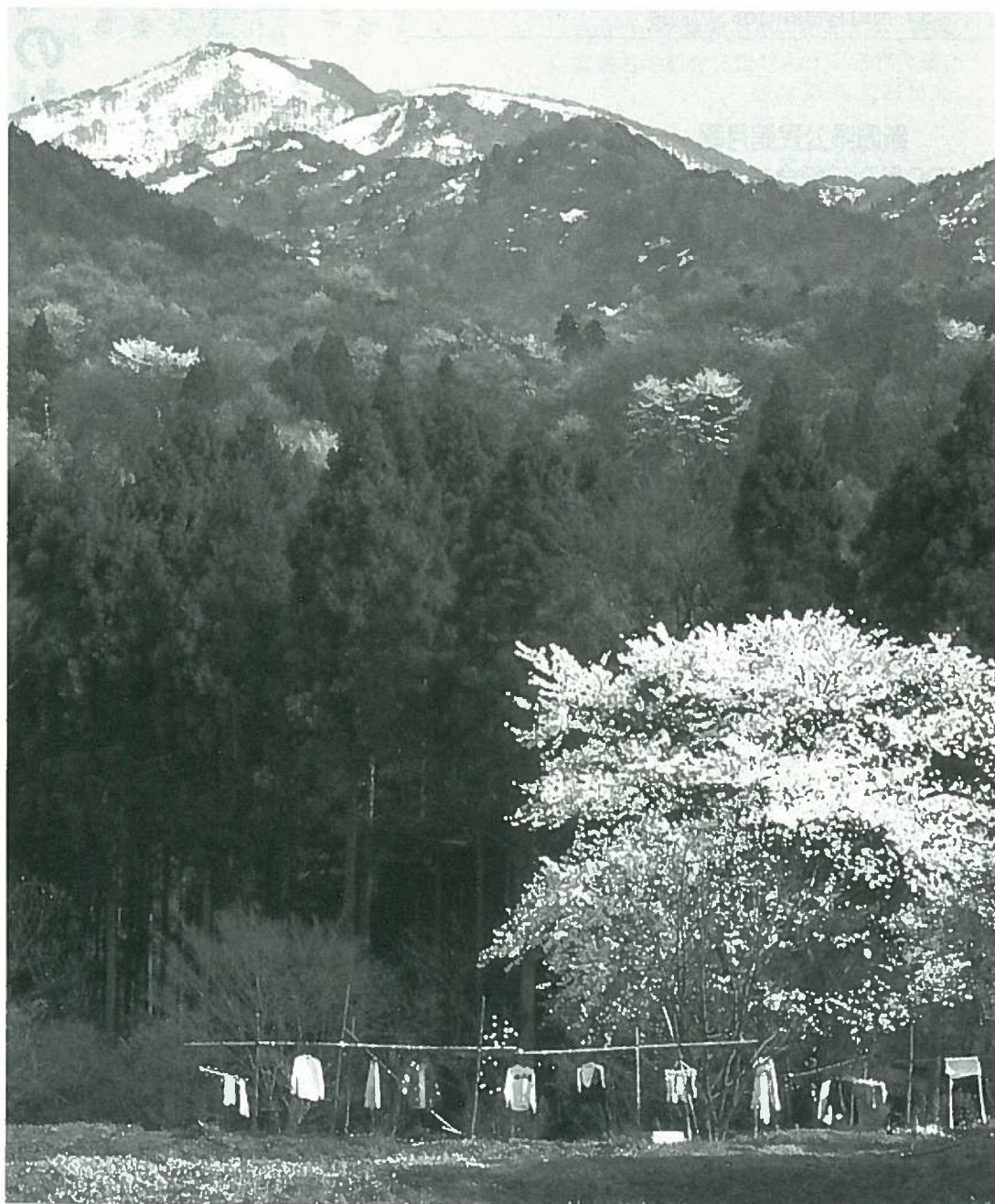
公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



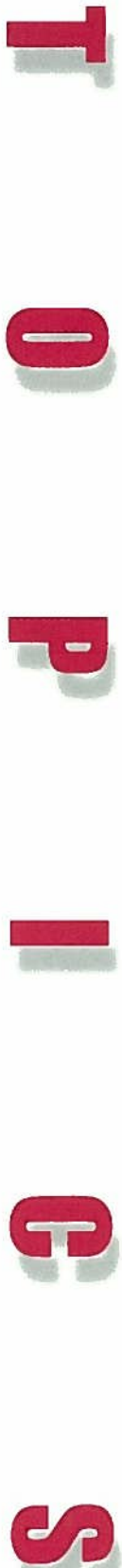
4.5 **特集** 地域と学校が連携協力した
奉仕活動・体験活動推進事業

- 3 **視点** 「鮭教育運動」の推進 齋藤 國平
- 3 **ひろば** わが生長記 津田 稔男
- 6 **実践記録シリーズ** ふるさとビデオ映画ついに完成
- 7 **サークル交流** 三条九重会 (三条市中央公民館) / 元気っ子クラブ (津南町公民館)
- 7 **素顔拝見** 馬場紘子さん (栃尾市) / 佐藤 優さん (下田村)



「花咲く里」 笹神村

No.602



第4回理事会・第2回評議員会開催

15年度基本方針・事業概要決定

市町村合併問題への対応

去る2月28日(金)の午前、新潟県土地改良会館で第4回理事会が開催され、第43回東甲信越静公民館研究大会の決算報告・当会の15年度基本方針・重点目標・事業計画概要要案、第54回新潟県公民館大会開催案等について協議さ

れた。また午後、同会場で第2回評議員会(出席28人、委任7人)が開催され、理事会で整理された案について協議し、ほぼ原案どおり承認された。なお、現下の急務の課題である市町村合併問題について

は、その他の事項で初めて協議され、今後、前向きに真剣に対応していくことを確認した。一、新年度の基本方針・重点目標・事業計画概要案につい

て 基本方針案は左掲のとおりであるが、第43回閉プロ大会開催のため対応できなかった市町村合併問題について、最優先に取り組むことになった。

具体的には、市町村合併問題調査・検討委員会を立ち上げ、調査・学習、検討協議を深めていくこととなる。二、第54回新潟県公民館大会開催案について 大会開催地新井市から提案され、ほぼ原案どおり了承された。三、新潟県公民館月報六〇〇号刊行記念を祝う会について 内容次第は左掲のとおりであるが、市町村議会開催中という事情から参加者は少なかつたが、県教委、歴代会長、事務局長から祝意をいただきながら、盛会裡に終えることができた。

平成15年度 基本方針

基本方針

地方分権のさらなる推進が図られる中、県内各市町村では、市町村合併や行財政の構造改革の検討が急速に進められております。このような厳しい時代の転換期にあたって、公民館の役割・存在意義が大きく問われております。

しかしながら、昨年度は、第43回関東甲信越静公民館研究大会が本県で開催されたため、これらの重要な課題に対応するゆとりがないまま、経過せざるを得ない状況でありました。

そこで、今年度は、公民館が生涯学習推進の中核施設として、また、まちづくり、地域づくり、人づくりの拠点として存続できるよう、各行政機関・組織・地域住民の理解・連携協力を得ながら、次の五点を重点施策として取り組む所存であります。

- (1) 上部組織とのより一層の連携・強化
- (2) 職員の資質向上を図る研修事業の実施
- (3) 情報提供事業の充実・拡大
- (4) 県公連の体質の強化
- (5) 市町村合併問題への対応

新潟県公民館月報

第600号刊行記念を祝う会次第

平成15年2月28日
於新潟県土地改良会館

◇開会あいさつ

○現会長 今井 昭友

◇お祝いのことは

○下越教育事務所社会教育課副参事 渡邊 二夫 様
○第9代会長 志水 亘 様
—(社)新潟県社会教育協会副会長—

◇乾杯

○元事務局長代行 佐藤 貞正 様
—青少年育成新潟県民会議会長—

◇閉会・中締め

○新潟市中央公民館運営審議会副議長 雲尾 周 様
—新潟大学教育人間科学部助教授—



視点

「鮭教育運動」の推進

松代町立松代中学校長
町社会教育委員 齋藤 國平



生まれ育った松代の地で私
がやらなければならないこと
が「鮭教育運動」の推進であ
ると考えている。

この「鮭教育運動」を推進
するために、次のことを機会
あるごとに地域・保護者の皆
さんにお話しするとともに、
教職員にもお願いしている。

先ず地域の皆さんには「地
域のよさを十分に味わわせて
いただきたい。そのために地
域行事には、学校は積極的に
参加いたします。」と。家庭
の皆さんには「家庭の温かさ
を実感させ、親子の絆をしつ
かりしたものにするため毎日
必ず親子の対話をもっていた
だきたい。そして祖先を敬う
子に育てましょう。」と。学
校では「将来、都会という荒
波の中に出て行っても、自分
の意志によって生き方を選ぶ
ことができる学力・気力・体
力を身につけさせる努力をし
ます。そのために「基礎・基
本」の徹底に努めます。」と。

こうして育てられた子ども
達も、一人でも二人でもいつ
か松代に帰ってきて、この運
動を受け継いでくれたら幸せ
なんだがなあと考えている。

H O T N E W S

掲 示 板

月刊公民館 第3回編集委員会開催される

◇日 時 平成15年3月14日(金)
午後1時30分～4時

◇会 場 東京・全国公民館連合会会議室

◇出 席 編集委員8人
(当公連鈴木事務局長も)

◇編集委員会内容

- (1) あいさつ 石川正夫事務局長
- (2) 既刊号の進行状況、反響
・3月号特集「市町村合併と公民館」は、
大変時宜を得た内容で、早速資料とし
て活用した旨の発言があった。
- (3) 協議事項

①9月号以降の特集テーマ、執筆者の選
定について事務局から提案され、実践
事例等の紹介、推せんがなされた後、
ほぼ原案どおりと
なった。
なお未定の12月
号については、「人
権学習」を特集す
ることとなった。

②次回の編集委員
会は一応、5月21
日(水)を設定す
ることとなった。



わが生長記

真野町公民館運営審議会委員長 津田 稔男

私の出生は父五十一才、
母三十九才という超晩壮期
で、父は病弱で母は狭小な
農地を耕す傍、日雇稼ぎで
夫の薬代と生活費を稼ぐと
いう、幼い眼にも痛々しい
姿を見て来たのです。

大正の末期、三人姉弟の
末子として生まれ、長姉は
昭和の初め十四才で信州
(長野県)へ糸とりに、次
姉は近所へ子守りに、と正
に昭和不況を地で行く悲惨
な状態の中、私は小学校へ
入ったのが昭和五年の春、
これからの義務課程だけが
私に許された就学の時間で
した。

小学校卒業頃始まった支
那事変は、年毎にエスカレ



二十数年前、誘われて歴
史講座に参加したのがぎつ
かけで、回を重ねる毎に興
味と探求心をかき立てら
れ、今では生涯学習の生き
甲斐のようになっている今
日この頃です。

③市町村レベルの推進体制整備(拡充)

地域教育力・体験活動推進協議会及び市町村体験活動・ボランティア活動支援センターの設置など体制整備を図る。特に、2年目の市町村については、1年目の活動実績を踏まえた諸活動のコーディネイトや地域の実情を踏まえた魅力ある参加プログラム等を企画・実施する。

(3)子ども週末活動等支援事業

学校や社会教育施設、スポーツ施設など、地域の教育力活性化拠点を中心に、地域のスポーツ指導者、大学生や高齢者等の地域資源を活用した週末等における子どもの活動支援や高齢者等の幅広い世代間とのふれあい交流支援など、地域の実情に即した取組を促進するためのモデル事業を実施する。

平成15年度 いきいきウィークエンド夢事業

1 目的

完全学校週5日制の趣旨を踏まえ、休日を中心とした青少年の多様な体験学習等の機会や場を提供し、地域の教育力を活性化することで体験活動機会の充実を図る。

2 事業

二事業で構成(どちらから一方を活用して5日制の受け皿づくり)

- ・いきいき体験・学習活動「レッツ・トライ！」(県単補助事業)
- ・子ども週末活動等支援事業(国委託事業)
(国は県に委託し、県は市町村に再委託するもの)

○いきいき体験・学習活動「レッツ・トライ！」

地域の子どもたちに多様な体験活動・学習の機会を提供するため、連携して取り組む市町村に補助する。

- (1)事業主体 複数市町村又は複数市町村を中心とした実行委員会
- (2)対象者 小・中・高校生
- (3)活動内容

次のA～Gの活動内容から幅広い子どものニーズを考慮して月2回程度実施することが望ましい。

- A スポーツ活動(地域のスポーツ団体、指導者を活用したスポーツ教室)
- B レクリエーション活動(体育指導員等を活用したレクリエーション)
- C 自然に親しむ活動(動植物観察、自然体験、農業体験、環境学習等)
- D ボランティア活動(地域のボランティア、奉仕体験等)
- E 趣味活動(公民館等で活動するグループを活用した活動等)
- F 芸術文化活動(美術館・博物館などを活用した学習活動等)
- G その他の学習活動(余裕教室などを活用した

学習活動等)

※ AB、CD、EFの各グループからそれぞれ事業を選択し、最低2つのグループに属する事業を実施する。

(4)市町村の連携

- ・補助対象となる全ての市町村で連携による取組をする(2市町村以上)
- ・事業内容について、協議の場を設置する。
- ・補助金は、複数市町村又は複数市町村を中心とした実行委員会に交付する。
- ・2町村は550千円、3町村は770千円、4町村は980千円を補助金額の上限とする。(補助対象経費の1/2補助)
市と連携する場合は市770千円に1町村あたり、210千円を加える。

※連携のメリット

- ・市町村が連携して情報誌を作成し広報したり、募集することで、子どもたちの体験学習機会が広がる。
- ・市町村が連携して交流事業を実施することで、子どもたちの人的交流の広がり、指導者の活動の場の拡大、市町村のもつ施設等の有効活用、単独市町村ではできない大規模で、専門的な指導者を活用した事業が可能となり、多様な体験学習機会の拡充ができる。

(5)連携事業の実施方法

- ①補助金は、連携市町村で構成する実行委員会や代表市町村が受け口となる。
実行委員会は、市町村代表者で構成する。
代表市町村は、連携市町村から割合に応じて負担金を受領

②事業内容

実行委員会構成市町村の範囲で、連携して広報・募集等を実施する。
計画した複数の事業の中から、1つ以上連携交流事業を実施する。
月2回程度の実施とは、実行委員会全体で月2回程度という意味である。

○子ども週末活動等支援事業(国委託)(7地域14市町村予定)

週末等における子どもの活動支援など地域の実情に即した取組を促進するためのモデル事業を実施する。

- ①地域教育力活性化モデル事業(7地域14市町村)
 - ・1地域当たり、2,245千円を予定
- ②放課後子どもスポーツ活動活性化モデル事業(7地域14市町村)
 - ・1地域当たり、947千円を予定
 - ・県は1地域につき2市町村以上連携した実行委員会に委託する。
 - ・市町村ごとに地域教育力・体験活動推進協議会及び体験活動等支援センターを設置しなければならない。

注：モデル事業であり、現在行っている既存事業やスポーツ少年団の事業等を単に看板替えしただけの事業については、対象としない。

平成15年度主要事業紹介



特集

《奉仕・自然体験活動、いきいきウイークエンド夢事業等》

地域と学校が連携協力した奉仕活動・体験活動推進事業

(前年度予算額 1,941百万円)
15年度予算額 2,068百万円

1. 事業の要旨

平成13年7月の学校教育法及び社会教育法の改正や今年度からの学校週5日制の完全実施、さらに平成14年7月の中央教育審議会答申「青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について」においては、奉仕活動・体験活動の具体的な推進方策等が提言されたところである。

そのような中で、地域の教育力の活性化及び奉

仕活動・体験活動の充実を総合的に推進するため、社会的気運の醸成に向けた取組を展開するとともに、推進体制の計画的な整備充実や、地域の実情に即した子どもの多様な活動を促進するためのモデル事業を実施する。

2. 事業の内容

(1) 奉仕活動・体験活動に対する社会的気運の醸成に向けた取組の展開

①国民の関心を引き付ける広報啓発・普及活動の全国展開(新規)

パンフレット、ポスターの作成・配布、テレビ、雑誌など多様なメディアを活用した奉仕活動・体験活動の推進に向けた広報啓発・普及活動を全国的に実施する。

②奉仕活動・体験活動推進全国フォーラムの開催

奉仕活動・体験活動に関する理解を深めるとともに、より多くの青少年等の活動への参加が促進されるよう普及啓発を図る。

③奉仕活動・体験活動に関する調査研究活動の充実に関する調査研究

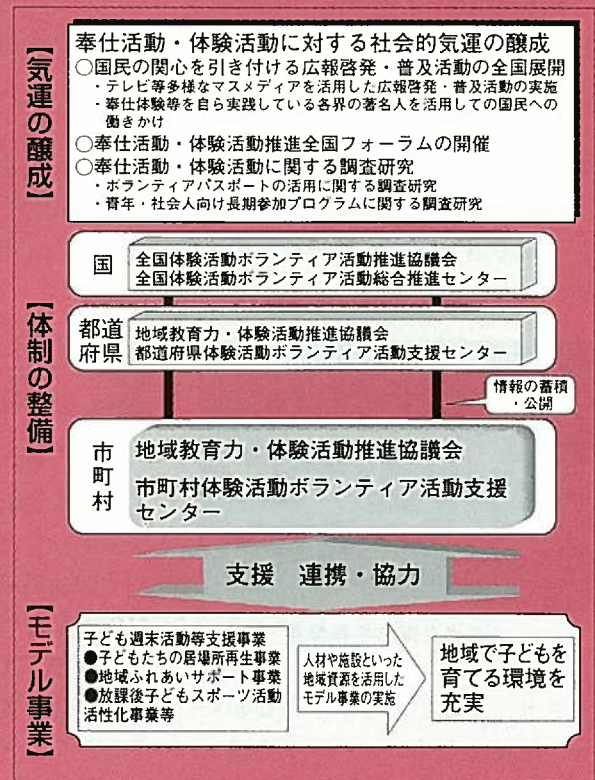
(2) 奉仕活動・体験活動の推進体制整備

①国レベルの推進体制整備

全国体験活動ボランティア活動推進協議会及び全国体験活動ボランティア活動総合推進センターを整備充実させ、より効果的な協議や、情報収集・提供、コーディネートなどを行う。

②都道府県レベルの推進体制整備

地域教育力・体験活動推進協議会及び都道府県体験活動ボランティア活動支援センターについて、1年目の活動実施を踏まえ、コーディネート体制を充実させるとともに、モデル事業を効果的に実施する。



実践記録 シリーズ 61

私の愛する“ふるさと”を多くの人たちに伝えたい
ふるさとビデオ映画ついに完成 1本1000円(活動協力費)
あなたの心が地域を救います!

豊栄市中央公民館 主任 高橋正範



スタッフによる上映会の進行

1 中央公民館「地域コミュニティ講座I」とは

豊栄市では、施策の大きな柱として地域コミュニティづくりを展開中です。

そこで中央公民館では、自己決定・自己責任・自己負担の自立型の地域づくりを目指し、市内5地区で、地域コミュニティ講座Iを新規事業として展開しています。そのひとつが、岡方地区のふるさとビデオ映画づくりです。

2 制作母体「岡方さがし隊」の誕生

岡方地区は、市の南に位置し、世帯数1050戸、人口4500人の地区です。

この地区で、平成14年7月に、20代から60代までの19人の地元スタッフで「岡方さがし隊」を結成し、ふるさとビデオ映画づくりを始めました。



ふるさと岡方を再発見

スタッフは不安をかかえながらも、地域のためにスタッフ会議・

シナリオづくり・撮影・編集作業に50日間をついやし、平成15年2月に地域で上映会を開催するところまでこぎつけました。

3 完成作品「いろいろ岡方～受け継がれるふるさと～」

子どもたちが、地域に目を向け、地域を自分たちのものとすることによって、地域に愛着を感じ、ふるさと意識が芽生えてきます。

この映画には、先人から継承された伝統芸能や学校の歴史、阿賀野川のシジミ漁や新しい名所などの自然風景・保育園・学校での子どもたち、敬老会でのおばあちゃん、おじいちゃん的笑顔など、人とひととのふれあいを映像に収めました。

懐かしく、愛着をもって思い出されるものを守っていくこと。そんな大人としての役割を感じさせる30分のビデオ映画です。

4 地域へ伝えられたもの、地域から伝えられたもの

上映会は、2月から地域全体で2回、要望のあった自治会では2回開催したところ です。

その会場では、子どもたちからお年寄りまで世代間の垣根をこえた、さまざまな人たちの交流があり、映像を通じて岡方地区のすばらしさを改めて地域の方々に伝え

ることができたと思います。

また、多くの人に見ていただけるようVHSビデオテープにまとめ、1本1000円で販売しています。これは2年目の活動費に充てます。



世代を超えた参加者の皆さん

撮影では地域の皆さんから、上映会では自治会長さんから協力をいただき、また地元の岡方地区公民館からは、活動協力金の受付事務まで引き受けていただきました。大変感謝をしています。

そんな地域の温かさに励まされ「岡方さがし隊」は、平成15年3月、ますます地域づくりのために貢献しようと確認しあいました。



小倉百人一首の世界

三条九重会

皆さんは競技かるたを知っていますか？歌を詠まれた瞬間に並んでいた札が勢いよく飛び、優雅な「かるた取り」というよりも、一瞬にかけるスポーツと言った方がふさわしいと感じると思います。

私たちはまさにこのスポーツかるたを愛好する仲間の集まりです。とはいえ、百人一首は一千年以上の伝統を受け継ぐ和歌の世界でもあります。この百人一首を覚え、かるたとしてスピードを競うと



いうところに、古い昔の世界から現代の私たちの世代まで続く歴史的なつながりを感じることができるとのことです。

三条九重会では1月に新春大会、9月に県大会を開催し、毎月第2・4土曜日に初心者教室を開催しています。

三条九重会

佐藤隆司 記



親子で元気です!!

元気っ子クラブ!!

元気っ子クラブ(中魚沼郡津南町)

「元気っ子クラブ」は、平成九年四月に発足し、当時のメンバーが「母子共に心と体がいつまでも元気で過ごすとができたらいいな」との想いから命名したそうです。



0歳〜就園前の子どもと母親を対象に、お花見、遠足、七夕会、食事会、体育指導員による親子体操、クリスマスパーティー、豆まき、お別れ会などを行っています。

会費は百円/月で、活動日は基本的に毎週木曜日の十時〜十一時までの一時間、遠出する場合は二〜三時間程度としています。

これからもいろいろな活動を通して子どもと母親はもちろん、メンバー同士のふれあいも大事にするサークルにしていきたいと思っています。

「元気っ子クラブ」

菅原庸子 蒔田恵理子 記

先日、かわいい赤ちゃんが誕生、ぴっかぴかのパパになった彼。職場の中で今一番輝いている。

学生時代は駅伝部に所属、スポーツ万能、頭脳明晰、人柄よし。唯一の弱点であった酒は、いつのまにかいける口。

社会体育を担当して丸4年。昨年4月から一緒に机を並べているが、あわてたところを見たことがない。淡々と



下田村教育委員会 主事 佐藤 優さん

各種大会やスポーツ教室をこなす姿は、実に頼もしい。

春と秋は行事がたてこみ、フル回転となる。家族あつての自分と心がけ、時にはセーブすることも忘れずに。いつでも同僚7人がついてるから。

おわりに、我が日本の子孫繁栄のため、昼夜をたがわず(?)益々精進あらんことを祈る。

(中央公民館 田村 久 記)

馬場紘子さんは、昨春、商工観光課から生涯学習課・公民館へ異動になり、1年目。子育て・女性関係、料理教室等の講座、勤労青少年ホームや会計事務などを担当しています。公民館は、休日や夜間の勤務が多く他の部署と比べ、敬遠されがちな面もありますが、商工観光課でイベント地獄を経験してきている彼女にとっては、大した負担ではないようで、いつでも笑顔を絶やさず、



栃尾市生涯学習課・公民館 主事 馬場紘子さん

ときばきと対応しています。こんな彼女の姿を見て、「あの娘感じがいいね。名前教えて」と私に耳打ちしてくる市民(特に男性)も一再ではありません。しかし、そんな男性諸氏には残念ながら、彼女はすでに伴侶ある身。一粒種の友里奈ちゃんの子育てに奮戦中で、公私とも子育て・生涯学習に充実した毎日を送っています。

(大橋雅直 記)

素顔拝見

「良いものつくりましたネ」
 「一見して県公連の歴史がわかるものネ」
 六〇〇号刊行記念を祝う
 会、郵送でお届けした歴代の
 会長さん、大先輩の方々から
 もおほめのことをいただいた
 ております。
 内容は、創刊号、一〇〇号
 ～五〇〇号まで、百号毎のダ



イジエスト版ですが、その都
 度、県公連の歴史(活動内容)
 が直ぐ読み取れる、と大好評
 です。

新潟県公民館月報抄 600号刊行を祝って

新潟県公民館連合会

ご芳志をいただいた学者、
 研究者の先生方からも評価
 いただき、光栄に思ってお
 ります。
 残部少々ですが、一部3
 00円、郵送料180円で
 頒布しておりますので、ご
 一報いただければ幸いに存
 じます。連絡先は下欄の県
 公連事務局まで。

Net work ネットワーク

●新潟市関屋地区● ウォーキングで新発見 関屋地区を歩こう!

①自然散策コース ②歴史探検コース

私達が住んでいる関屋地区をもっと知り、地元を愛着
 を感じてもらうと、小学校高学年から中学生を対象に
 関屋地区のウォークマップを作りました。

作成にあたっては関屋地区公民館「ふるさと関屋楽」
 で調査・研究した題材がたくさん盛り込まれております
 ので活用してください。

家族や友達の方々といっしょに楽しくウォッチング
 をし、わからないことがあればお父さんやお母さんに聞
 いてみましょう。



編集
 ふるさと関屋楽研究会
 発行
 平成15年3月
 新潟市関屋地区公民館
 〒951-8164
 新潟市関屋昭和町
 3-148-1
 TEL.025(266)4939

event information

平成15年5月の
 催物ご案内

☆サイエンスショー☆「しゃぼん玉と遊びまショー」

4月26日(土)～
 5月5日(月・祝)

[内容] 巨大しゃぼん玉など、楽しい実演をとおして、しゃぼん玉の不思議さを解説
 します。エントランスホールにおいて、1日数回実施します。



★プラネタリウム春番組★

3月1日(土)
 ～6月1日(日)

「ようこそオーロラの国へ」

[内容] アニメによる物語の中で、たくさんのオーロラの写真をまじえな
 がら、美しく神秘的な「オーロラ」の正体について解説します。
 また、極地域と日本(中緯度地域)では星の見え方が違うことや、
 うしがい座・おとめ座などの春の星座も紹介します。

5月の休館日は

6日(火)、12日(月)、19日(月)、26日(月)です。

※毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)の定休日のほかに、設備点
 検整備等のための休館日があります。(5月はありません。)

料 金	項 目	大人	小・中学生
	入 館 料	550円	100円
	入館料+プラネタリウム観覧料	750円	200円

○幼児、障害者手帳をお持ちの方は無料です。
 ○プラネタリウムを観覧される場合は入館料が必要です。
 ○20名以上(有料入館者)の団体は割引制度があります。

〒950-0948 新潟市女池南3丁目1番1号
 新潟県立自然科学館

あ
 と
 が
 き
 A4判化への反響が大きく出
 ております。
 今後の改訂要望、ご意見等が
 寄せられましたので、早速月報
 第2回編集委員会に提示、検討
 いたしました。
 そして、改善できるものから
 手がけていくことで意向が一致
 しました。
 これから市町村合併問題への
 本格的な取り組みが始まりま
 す。腰を据えて、じっくり対応
 していく必要があるかと存じ
 ます。(鈴木 記)

表紙解説 「桜咲く里」第3回さかみフォトコンテスト入選作品 撮影：榎本清一 残雪の五頭と桜。毎年5月3日には五頭山の山開きが行われ、2千
 人を超える登山者が春を楽しみに訪れます。(笹神村)

発行所 新潟県公民館連合会 発行人/会長 今井昭友 編集人/事務局長 鈴木友夫 Eメール/ni-koren@juno.ocn.ne.jp
 〒951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 TEL・FAX(025)224-6073

印刷/第一印刷所 〒950-8724 新潟市和合町2-4-18 TEL(025)285-7161 FAX(025)282-1776 【定価1部150円 年々1,800円】